議会報告会における意見・提言について

令和４年５月１０日から５月３１日に開催した議会報告会における議会に対する参加者からのご意見につきましては、各班作成による報告書を受け、４回にわたり議会運営委員会で協議した結果、下記のとおり補足説明及び、対応いたします。

なお、２部で頂戴しました「人口減少と地域コミュニティ」についてのご意見を基に、「人口減少」「自治会運営」「農業後継者不足」と大きくテーマを３つに分けて、各常任委員会で調査・研究を行います。

■５月１０日（火）　２班　しゃくなげ会館
・倫理条例について、安井議員は SNS で桑原住民や自治会のことを事実誤認のことを拡散されていることは大問題である。どう考えているのか。住民が悪臭で苦しんでいる、事業者は刑事罰を受けているにもかかわらず、議員が肩入れしているのは何故か。テレビ局への安井議員の圧力は倫理条例に反している。大問題であり、議会で話し合ってほしい。 **→令和 4 年 6 月 23 日会議において、安井博幸議員に対する辞職勧告決議を議決しました。詳細については議会だよりや本会議動画をご覧ください。**
・市が業者を告訴したが、それを検察官が起訴しなかった。不起訴になったからといって無罪ではない。市に抗議した議員がいることはおかしい。 **→令和 4 年 6 月 23 日会議において、安井博幸議員に対する辞職勧告決議を議決しました。詳細については議会だよりや本会議動画をご覧ください。**
・業者の立場と住民の立場をわきまえている。最初から移転することでしか解決しないと思っていた。何故、こんなことになってしまったのか。なんとか円満に解決してほしい。平成 30 年に確認書を頂いた後、令和元年、2 年に確認書を頂いた。 **→円満に解決できるように今後も取り組んでまいります。**
・「おしゃれでわくわく」さっぱり意味がわからない。施政方針がわからない。予算規模は？ **→市長が令和 4 年度の施政方針として「おしゃれなワクワク農村へ」というキャッチフレーズを表明しました。参考までに、令和 4 年 6 月 16 日会議において、森本富夫議員が「おしゃれでわくわく」に対する一般質問を行っております。詳細については議会だよりや本会議動画をご覧ください。**

■５月１２日（木）　２班　高城会館

・議会報告会とは何か？ここで発言したらどうなるのか？市長のふるさといちばん会議の方が有効である。議会で目的をしぼって話してもらえるほうがよい。我が自治会は 17 世帯で高齢化率は 51%、10 年先には存続しているのか。八上校区の中でも消え去る運命にある。

→市長には執行権があるため、市民の意見を即反映させることができます。しかし、市長が実施しない、又は難色を示す事業に対して、議会から声を上げれば市政に反映できる場合があり、ふるさと一番会議と議会報告会には優劣の差はないと思っています。また、自治会運営については、常任委員会で調査を行います。

■５月１３日（金）　２班　雲部公民館

・報告があっさりしすぎている。もう少し内容を詳しく教えてほしい。自治会長は選挙という名の押し付け合い。役員のなり手不足。自治会の統廃合が今後は必要、集落の終わり方も考えていく時期かと思う。

→自治会運営については、常任委員会で調査を行います。

■５月１６日（月）　２班　コミュニティセンター城南会館

・①議員定数について、監視、政策提言ができていれば 18 人でも適正であるが、どんな政策提言をして、どのような結果になったのか、それらについてチェックや、評価ができているのか。
・②コロナ感染について、学校名の公表、丹波篠山市の感染状況を公表していない、他市では公表しているが偏見等の問題にはなっていない。感染予防のためには公表が必要だと思うがどうか。

→①政策提言については、各常任委員会や一般質問、日々の政務活動の中でも行っています。チェック機能についても実現した事業については各委員会審査の中等でどういった結果や成果に繋がったのか評価を行っています。
②コロナ差別については早くからコロナ差別をなくそうという宣言をしています。人権推進課が所管していますし、民生福祉常任委員会でもチェックしていますが、大きな問題が起きているとは聞いていません。学校名の公表については、県の保健所の方針もありますので、本市においては公表しないとの取り決めのようですが、今後、検証していきたいと思います。

■５月１８日（水）　１班　城下まち会館

・政務活動費について、もっと使って効果を上げてほしい。

→コロナ禍で使う機会が少なったことが要因としてあります。調査旅費などはオンラインで実施すると必要ありませんし、活動費を使う場合は議長に事前申請が必要で、認められてからでないと使えませんので計画性と実効性が必要だと考えています。貴重なご意見をありがとうございます。

・定数が何で 18 人が妥当なのか。16 人で良いと思う。報酬が長期間変わってないことの方が問題。
・市内の医療機関の経営課題について、産科医院に 1,500 万円補助も悪くはないが、将来的に人材を育成するような使い方をしてほしい。
・桑原の養鶏場問題について、喧嘩しないで出て行ってもらえば良いのでは。
・人口が 40,000 人を割った。高齢化率は高くなり老老介護家庭も増えた。
・子育てできるような教育を充実し、若者が帰ってきてくれるような丹波篠山市にしてほしい。

→貴重なご意見として受け止めます。

・議員は陳情活動もしているのか。かつては自治会長のみというルールがあった。一般質問こそ議員活動と考えている議員も居るが、質問の数ではないと思う。法定得票数が獲得できるような議員活動を。

→貴重なご意見として受け止めます。

・子どもの数が減り、後期高齢者所帯が半数に迫っている。特に 350 年の伝統がある秋の例祭の存続が危ぶまれるが、17 地区の協力を得て「秋まつり保存会」ができた。乗り子のルールも改正しながら、次世代に繋げるよう努力している。
・乗り子は鐘⇒5 人、笛⇒5 人が 2 組、太鼓⇒1 人の合計 16 人要る。そんなに子供は居ないので、中高生や大人まで乗せようとすると、鉾を引く人がなくなる。他の地域や学校あげての協力が必要だ。

→人口減少は大きな課題です。常任委員会で継続して調査を行います。

・企業誘致で若者の働く場所が必要だ。なぜ来てくれないのかその課題を解決できないものか。

→八上地区に、木工業と食品加工業の 2 社が企業誘致により来てくれることになりました。企業は多くありますが、その企業の人材は足りていません。若者が希望するような企業・業種（会社）が少ないというミスマッチも発生しています。

・地域の役員とその人材が無くて、ひとり何役も務めている。特に民生委員の選任に苦労している。

→自治会運営については、常任委員会で継続して調査を行います。

・企業誘致どころか企業撤退で打撃を受けるまちがある。行政が出資し雇用を守るケースもある。高校活性化の話もあったが、北海道ではほとんどの高校が廃校寸前。全国から生徒を集めようとしている。丹波篠山市も海外を含めて広く募集すればどうか。

→貴重なご意見をありがとうございます。

■５月１８日（水）　２班　岡野文化会館

・議員は地域の代表ではなく市全体のことを考えてほしい。市長とは是々非々で緊張感をもってやってほしい。

→議員は地域・市全体のことを考えて活動をしていると認識しています。

・安定ヨウ素剤は平成 27 年度から 7 年間目になる。合計 2700 万円、令和 4 年度 530 万円、令和 2，3 年はコロナで更新できていない。使用期限も切れている人の 1 万人が更新できていない。ハンドブックによると飲んでも逃げる必要がある。飲まずに屋内退避でも良いのではないか。本当に必要なのか。費用対効果を図り、一般財源をこんなものに使ってもよいのか。こんなことやっているのは全国でも丹波篠山市だけ。

→貴重なご意見として受け止めます。

・持って帰ってどうするのか。議員の意見はバラバラで持って帰ってそれっきり。今年度は予算が決まっている。持ち帰ったところで修正することはできないので、意味がない。

→議会報告会は 19 地区を班編成で行っているので、頂戴したご意見について報告書を班でまとめて議会運営委員会を通じて共有し、検討が必要な課題については特別委員会や常任委員会などで調査・検討できるように協議します。また、当日回答できなかったものは後程回答します。

・味間こども園の土地の価格が 2,000 万円、30 年の契約、年に 270 万円を支払って約 1 億円を支払うことになる。最初に考えるべき。木戸議員や恒田議員がチラシを出した。周囲の人はおかしいと思っている。議員は個人の意見ではなく、市民の意見を聞いて判断してもらわないといけない。

→原則、所有権の取得が通例であると考えますが、地権者に売却の意思が無く、借地になったと聞いています。地権者に土地の売却意向があれば、購入の検討をしていきます。

■５月１９日（木）　１班　玉水会館

・政務活動費の支出が少ない。有効に使うべきではないか。不要なら元から減らせば良い。

→コロナ禍の影響もあり、支出が少なくなっています。貴重なご意見をありがとうございます。

・私も 14 年前に村入りしたが、協議費は請求されるが総会には案内がなかった。そのことを伝えると、集落も慣れないことで困惑されたと思う。話し合いを重ねて良い解決策を見つけてほしい。

→15 年以上住み続けないと村財産に関する権利が発生しない自治会もありますし、共有財産をどう扱っていくのかとの課題もあります。自治会運営については、常任委員会で継続して調査を行います。

・既住民が6軒、移住者が6軒だが、移住者に既存事業に対して積極的な方。先住者でも消極的な方など多様性が見られるが、心やすく話し合うことから始めている。

一部を除いては協力的。移住者はリモートで仕事をしていたり、陶芸家だったりで、既住民は農業に四苦八苦しているのに、優雅そうな生活に見える。また、空き家がすぐ売れることには驚いている。

→本市への移住者は増加傾向にあり、コロナの影響もあって、移住に関する問い合わせも多くいただいているようです。貴重なご意見をありがとうございます。

・40戸の集落だが、移住者から「入村料」30,000円を徴収している。このようなお金をもらって良いのか迷っている。他の地域はどうか。

自治会長（A）：入村料は50,000円、協議会費も前後期で徴収。

自治会長（B）：入村料9,000円と公民館建設負担金100,000円が要る。

自治会長（C）：86戸の集落で独り暮らしが多い。入村料はなしで協議費は18,000円／年。営農組合が農地と栗園を管理している。農業法人に2㌶ほど預けて酒米も作っており、山は集落の森林組合が市の組合と連携しながら管理している。

→他の地域でもよく聞く話ですが、地域自治会の運営に必要という理解を得ることが大事だと思います。課題であると考えるなら一度自治会の皆さんで入村料の在り方について検討してはどうかと思います。自治会運営については、常任委員会で継続して調査を行います。

・保育園児が3人居るが年齢差がある。独りになったら親が送り迎えするのか。

→子どもに危険がある課題は行政も考えないといけないと思います。地域に対しては見守りの依頼が学校側からあるかも知れません。夏場は「熱中症対策」でバスを出しているので、一人で登下校する児童に対応できるかも知れません。人口減少については、常任委員会で調査を行います。

・親が亡くなって、私の農地はグリーンファームにお願いしているが、大変なのは草刈り。皆でやろうと「草刈り隊」を作ったが、道や耕作放棄地ののり面など、本来耕作者が管理場所を刈ると不公平感が生まれ運営を妨げる。他の地域の状況はどうか。

→市内には 20 か所に草刈り隊が結成され、助成金が市から 10 万円出されていましたが、草刈り機等の購入に助成を始めたため、現状は 5 万円の助成となっています。丹波篠山市では「地域の農地は地域で守る」が原則になります。他地域の状況は市の方がよく把握しているので、農都創造課で相談していただければと思います。農業後継者不足や自治会運営については、常任委員会で継続して調査を行います。

・草刈り隊員の費用弁償はどうなっているか。

→その財源は、地主（受益者）から徴収することが多いですが、費用弁償の方法は草刈り隊毎に異なっていると認識しています。費用弁償の方法についても、農都創造課に相談されるのが良いと思います。
・多面的機能支払交付金も活用できます。

■５月２０日（金）　１班　四季の森生涯学習センター　東館

・安井市議は立場を使って関西テレビに放送中止を求めた。非常識で恥ずかしい話だ。

→事実関係は把握していませんが、貴重なご意見として受け止めます。

・味間の人口は約 10,000 人。小学生も 170 人居るが、団塊の世代はあと 5 年経過すると 80 歳代に突入する。高齢化は確実に進んでいる。

→全市の高齢化率は 35.31%。味間地区は 27.11%、周辺部では 50%に迫っている地域もあります。

・市内周辺部の方が味間地区に移住されることが多い。その移住者は戸建てが70 軒、アパート等が 100 軒だ。その 100 軒の方々はほとんど、自治会費は払うが自治会活動に参加しない。過疎ではないから他の地域からは羨ましがられるが、コミュニティーが成り立たない。この問題は市にも対策を考えてほしいと訴えているが考えてくれている様子はない。
・篠山口の駅前でまちの顔とも云える場所だが、空き家もある。15～20 戸は独り暮らし。最近、駅前を何とかしたいと検討している。市議会でも考えて欲しい。

→自治会活動に参加しない方がおられるという話は、他の地域でも聞いています。住民はいるけど自治会活動には参加しないということで、今消防団員も欠員がでており危惧されています。自治会加入については大きな課題になってくると思いますので、駅前問題についても併せて議会としても関心を持っていきたいと思っています。

・戸建ての人は比較的少ないが、西紀や多紀地区から来た人は農地や村用の世話をしている人も居る。議員には出身母体の地域があるが、味間の課題も知ってもらって全市的な振興を議論して欲しい。コミュニティーはまちづくりの原点だと思っている。

→貴重なご意見をありがとうございます。

・明石市は子育て施策が充実し人口が増えている。参考にしないのか。

→丹波篠山市も子育て一番を謳っており、財政的に明石市と全く同じことはできませんが、限られた予算の中で精一杯取り組んでいます。これからも子育て施策について前向きな提案をしていきたいと思います。

・市は衛生委員から環境委員に名前を変えて、多くの課題を押しつけてきた。
　自治会としては、環境委員にこれ以上の仕事を任されても、今以上のことはできないと思う。

→貴重なご意見として受け止め、常任委員会で調査を行います。

・男女共同参画センターをつくるそうだが機能するだろうか心配。無駄な審議会の費用も考え直して欲しい。

→貴重なご意見として受け止め、注視してまいります。

・今田のぬくもりの郷に「道の駅」が計画されるのか。味土里館の方がよっぽど効果的で現実的ではないか。

→貴重なご意見として受け止めます。

■５月２０日（金）　３班　城東公民館

・城東保育園・かやのみ幼稚園は年数が経過しており、かなり老朽化している。市内に同じような施設が多々あり、優先順位もあるかもしれないが、近々今田認定こども園が出来るといった話もきいている。城東・かやのみ幼稚園についても老朽化対策等が計画されているなら教えてほしい。

→この４月に保育園を視察しまして、ガラスの扉が動かなかったり、調理室に使用していない換気フードがあったりと本体施設の老朽化している部分は確認しました。これから視察した内容について報告しますが、すぐに工事を実施できるのかは明言できませんが、施設の老朽化が進んでいることは認識しています。

・今田保育園は災害警戒区域のレッドゾーンになっているので、優先的に進んでいると思います。

■５月２３日（月）　２班　大芋公民館

・有償運送について、高齢者に大変喜んでもらっている。市役所などには行けるが、市内の病院などには有償運送を走らすことができない。民間バスの撤退については陸運局も認可できない。制度のはざまで難しいことは承知の上、議員には市民の願いを知ってほしい。

→市内の路線バス・コミバスの運賃を最大 200 円上限にするなど、バス利用者への運賃軽減と公共交通の維持を図る取り組みを実施しています。また、市内タクシー業者も維持しながら地域の課題にも対応できるように検討を続けており、少しずつより良い形になるよう頑張っています。

・となり近所の助け合いは、老老介護の当地区では無理となり、有償運送を始めた。1 回行ったら次も、となる、近所の助け合いはいいことかもしれないが、それが困難になったので、公共交通のシステムを行政が創った。

→高齢化率 50%の大芋地区では、住民同士の助け合いに限界があると思います。そのための公共交通なので、現状の制度の行き届かない部分を議会でも受け止めたいと思います。

■５月２４日（火）　１班　後川文化センター

・議会報告会で色んな意見をお伝えしており、即答できないことは解っているが、ここで出された質問は関係機関に繋いでもらって、経過報告はきちんとフィードバック欲しい。市民が「言いっぱなし」にならないようにしてほしい。

→頂戴した意見は、班の記録係がきちんと記録することになっています。その記録を議会全体で共有し、後日報告書を作成し、自治会長会会長とまち協会長に報告しています。また、行政に繋いだ後、繋いだままにせずに、その後の進捗状況や経過を確認し、その報告が可能か否か、議会報告会のあり方について議論をさせていただきたいと思います。

■５月２７日（金）　１班　げんき・げんきハウス

・合併から 20 年経過するが人口が減り続けている。今後どうなるのか。

→東部地区の人口は大きく減少しています。過疎問題の特効薬はありませんが、先ほどの高校の問題も含め、企業誘致等で働ける場所の確保など、若者が地元に残ってくれるよう努力していきます。

・東部地区の議員も来てくれているが、地元は人口減少を止めるような工夫をしているのか。

→まちづくり協議会と移住者が協力して、住みやすい地域になるよう努力していただいています。移住者誘致や定住促進事業の効果なのか、子どもが増えてきている状況も見られます。

■５月３０日（月）　１班　今田まちづくりセンター

・中山間地域の公共交通、SDGｓにもつながる公共交通「デマンドタクシー」を紹介したい。

丹波市は公共交通課を設けて市をあげて取り組まれている。西脇市の「むすブン」は非常に参考になる。市役所が受付を担当し、タブレットを持った運転手に情報が伝わる。面積が 132 ㎢と丹波篠山市の１/3 程度なので、効率が良い。利用者はドアｔｏドアでないと受け入れられない。利用者を会員で募り、その会費である程度の財源に充当されたい。

→具体的な良い提案をいただき、西脇市のシステムについても検討に値する提案であると認識しました。

ドア to ドアを実施するには効率的な運行や予約の管理も正確に行う必要があり、そこで出てくる課題や取り組みについても、西脇市の「むすブン」について、議員間で情報共有させていただきます。

・ふるさと納税について、市は力を入れておられる。小麦アレルギーを持つ方には、米粉のビーフンは欠かせない食材。ただ、人気のある市内食品会社のビーフンは、調味料が小麦なのでアレルギー対応食品ではない。そのあたりをしっかり対応した返礼品作成にご協力いただけたら、私たちと似た悩みを持つ方々に喜ばれ、ふるさと納税も進むのではないか。
・自治会の回覧で黄色いオオキンケイギクを駆除しよう！と回ってきた。三田幹線沿いにもはびこっている。回覧を回すだけでは駆除につながらない。行政が道路沿いの草刈りをするときに、「50 ㎝だけ民地の草刈りをいたします」というようなことを PR して進めれば良いのではないか。
・「モルク」というゲームがおもしろい。今田ソフトボール大会の片隅でプレイした。体力がない方と健常者が対等に戦える点が面白いので今後普及させたい。

→貴重なご意見をありがとうございます。

・市長が行う「ふるさと一番会議」は意味があるが、議会報告会は何が目的かよくわからない。報告内容も市の事業ばかりで、信頼される議会には遠いと思う。
・地域の課題をまとめて提案するなど、地域密着型の運営をしていただくと、信頼される議会になると思う。
・丹波篠山市に住み続けるために、こういう提案をした、こういう予算を作ったといった報告の方が嬉しい。

→議会報告会の目的については、市内の課題について各地域に出向いてお伺いするものです。その課題を議員全員で共有し、議会としてまとめて解決策等について市に提案していきます。第 2 部については、お伺いしたい内容をテーマとしてより絞り込んでいるものです。貴重なご意見として受け止めます。

・第２部について、テーマだけでは議論できないので、データを示してほしい。
・今田の生活圏は東条や西脇にも及び、人間関係においても複雑になっており、どうしたらいいか分からない。

→今田の人口だけ見ると 15 年前は 4,000 人、今年の 3 月末では 3,200 人なので 20%減ったことになります。市全体では 2040 年には 30,000 人になると予想しています。
・色んな地域に繋がりがあるということで、丹波篠山市だけでは賄えない部分を補うために、近隣他市のサービスを上手く活用して生活することも大事だ

と思います。

・人口減少問題は以前から話し合うべきだった。西谷では路線バスは朝と夕方の各１本。コミバスもあるが使えない。今田町民は三田市か西脇市に買い物に出かける。篠山の市街地が遠いこともあるが、魅力がないから行かないのだと思う。篠山口駅前周辺を元気にしてほしい。

→人口減少については、常任委員会で継続して調査を行います。

・私の母はスマホで通販を楽しんでいる。老人に楽天や Amazon を教えたら生活が楽になるのではないか。

→貴重なご意見をありがとうございます。

・①篠山口の駅通路を拡幅・増床し、テナントを貼り付けたら賑わいができる。財源は市が JR に預けている 9 億円の債権を使えばよい。
　②遠方が民間企業の開発で変わってきている。温泉周辺の再開発計画を民間企業で手掛けてもらえないものか。資金面も含めて考えてもらいたい。

→貴重なご意見をありがとうございます。

・公的空間でバーベキューができる場所が必要。住民同士のコミュニケーションを増やして地域を活性したい。

→貴重なご意見をありがとうございます。

■５月３１日（火）　１班　ハートピアセンター

・7 月 10 日に四季の森生涯学習センターでイベントを企画している。昨年は田園交響ホールでやったが、チケットは会場で販売できた。四季の森ではなぜ販売できないのだろう。

→四季の森生涯学習センターは貸館業務のみを行うため、チケット販売はしていませんでした。後日、四季の森生涯学習センターでもチケット販売が可能になったようです。

・子どもが少ない。若い夫婦に来てもらって、子供の声が響く中で生活したい。

→小学校が統合されましたが、その時より児童数が増えているという状況にありますので、とても希望を感じているところです。

・私の自治会は 36 戸と小さな集落だが子供は多い。移住者が 7 軒ある。若い人の働く場所が少ないように感じる。賃金は安くても働きやすい職場が良い。

→市内にある企業経営者のほとんどが「働く人がいない」と嘆いており、働く側は「働く場所がない」という意見を聞いています。企業誘致も進めていますが、この複雑なミスマッチの解決に向けて一緒に考えていきたいと思っています。

・若い者は「篠山には何もない」という。都会の華やかさに惹かれているのだろう。若者は見聞を広めてから、その後に篠山に帰って来てほしい。

→貴重なご意見として受け止めます。

・高齢化は防げないが、働く場所や趣味などおもしろいことがあったら快適に暮らせる。若者がうらやましいと思って篠山に帰りたくなると思う。

→貴重なご意見として受け止めます。

・私は 12 年前に来た移住者で、まち協で楽しませてもらっている。この地域の男性は女性に対する考え方が平等で女性が元気だ。それが結果的に移住者にとって居心地の良さに繋がっているのだと思う。自治会長会もフラットで互いの仲の良さも際立っている。

→貴重なご意見をありがとうございます。

・「村雲大家族」が合い言葉。手を繋いで家族になろうと働きかけている。
「村雲次世代会議」が花火大会を計画したり、ハーモニカ教室やめだかの会など自主的な同好会や活動グループもでき始めた。最終的にまち協は「地域福祉」と「地域農業」に行き着いたらうれしい。
過疎債を活用して、旧保健センターを拠点に、地域有償運送や草刈り隊、農業体験ができる宿泊施設やワクワク農村の活動を展開したい。村雲はこれからどんどん良くなると思っている。

→貴重なご意見をありがとうございます。